

新聞

岩木山

発行者 拓光園グループ

総合施設長 工藤 敏夫

弘前市大字百沢字東岩木山2628

電話

0172-96-2331

編集

拓光園新聞係



拓光園グループ
総合施設長 工藤敏夫
「新年を迎えて」

新年明けましておめでとうございます。
平成27年の新年を迎えられたことを、心より
お喜び申し上げます。

昨年拓光園が開設されて40周年を迎え、
平成26年11月29日に開催された拓光園祭
において多くのご来賓、ご家族の参加を得
て、記念の式典を挙げる事ができました。
これも偏に拓光園の事業に対し、これ
まで関係者の皆様からいただいた深いご理
解とご協力、ご支援の賜物と深く感謝申し
上げる次第です。

40年の歩みを振り返り、今後拓光園グル
ープが目指すべき方向性について改めて検
討し、平成27年が拓光園グループの新たな
出発の年と位置付け、これまで以上に利用
者の幸せで豊かな生活を実現していくため
に、職員一丸となって努力していくことと
しております。

昨年は、利用者の地域生活をさらに充実
するために、弘前市八幡に新たにグループ
ホーム（仮称賀田住宅C棟）を建設するこ
とができました。4月からは新築した建物
で、新しい仲間が生活することになってい
ます。また、入所利用者の高齢化に対応し
て段差を解消し、車いすの利用者や歩行が
不安定な利用者が安全に使用できるよう、
拓光園のトイレの全面改修を行いました。
利用者の生活を第一に考え、利用者からあ
ずましいと思ってもらえる環境への配慮を
今後も継続していきたいと考えています。

現在社会福祉法人の見直しについて、頻りに
論議されています。これはとりもなおさず福祉
サービスを提供する社会資源としての施設の有
り様に関わってくるものだという事を、我々
事業者は常に念頭に置きながら、今後の事業を
進めていく必要があるということを示唆してい
るものだと思います。

昨年開設40年という節目の年を迎えた拓光園
グループですが、拓光園グループの歩みは今後
も長く続けていかなければなりません。これま
でを振り返り、反省すべき点は反省し、福祉サ
ービスを提供する社会資源としての施設の役割
は何かということを中心に問い続け、利用者・ご
家族、そして地域から必要とされる施設であり
続けるために、しっかりと足取りで歩いて
いきたいと思っております。

今後も拓光園グループに対するこれまで以上
のご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年
を迎えてのご挨拶とさせていただきます。今年
一年が、皆様にとりましてより良い年であるこ
とを願っております。



《クリスマスプレゼントを頂きました》

昨年末、いつもお世話になっている「さ
くら交通様」「マックスバリュ岩木店様
」から利用者の皆さんにたくさんのお菓子
のプレゼントを頂きました。受け取った利
用者の皆さんから嬉しそうな笑顔が見られ
ました。本当にありがとうございました。

親子旅行（1泊コース）

9月24日から1泊2日の親子旅行東京コースに行ってきました。今回は参加者に希望を取り、両国国技館で相撲を観戦する相撲コースと、上野動物園に行く動物園コースの2グループに分かれて実施しました。

1日目、相撲コースではまず浅草寺を観光しました。仲見世通りでは揚げ饅頭や人形焼等、美味しそうな名菓に心躍らせていました。両国国技館ではメインイベントとなる相撲を観戦し、手に汗握る攻防にみなさんの応援にも熱が入っていました。動物園コースでは、台風が接近していた影響もあり、NHKスタジオパーク見学に予定を変更することとなりました。NHKスタジオパークでは大河ドラマの撮影で使われるセットなどを見学し、興味津々といった様子でスタジオ内を散策していました。

2日目は東京駅で自由時間となり、広い駅内を思い思いに買い物を楽しんでいました。東京駅内には有名ポップコーン店やキャラクターショップなど様々なお店があり、真剣な表情で商品を見比べていました。帰る頃には両手いっぱいにお土産を持っている方が多かったです。

今年の旅行は天候に恵まれなかった部分もありましたが、ご家族と楽しい時間を一緒に過ごすことが出来、利用者の皆さんも思い出に残る旅行になったと思います。

（生活支援員 佐藤菜々絵）



菊と紅葉祭り

10月24日、弘前公園にて開催された菊と紅葉祭りに行ってきました。当日は天候にも恵まれ、絶好の散策日和となりました。会場では、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」を再現した人形が展示されており、一つ一つに綺麗な菊が飾られていました。菊人形を見て気持ちもどんどん盛り上がっていき、会場内を笑顔で散策していました。

出店では缶コーヒーやフランクフルトを購入し食事を楽しむ方や、射的のゲームで景品を取ってくる方など、思い思いにお祭りを楽しみました。

色鮮やかな菊や紅葉を見学し、秋のお祭りを満喫することが出来ました。

（生活支援員 千葉健太郎）



40周年記念拓光園祭

11月29日、40周年記念拓光園祭が行われました。初冬の冷たい雨が降る中、40年の間に拓光園に携わっていただいた多くの方々に参加していただきました。

40周年記念式典では大平和夫理事長、工藤敏夫総合施設長、工藤幸造拓友会会長よりそれぞれ挨拶を頂戴し、この40年間で拓光園に関わっていただいた方々に感謝状と記念品の贈呈が行われました。その後は40年間の歴史をまとめた記念DVDが上映され、昔の活動の様子や利用者さんの若かりし頃の姿が映し出されました。皆とても懐かしそうに鑑賞しており、温かい拍手に包まれながら式典は無事終了となりました。

式典後は拓光園祭が催され、利用者さんと職員による合唱から始まりました。今年は『拓光園園歌』と『大きな古時計』を緊張しながらも大きな声で歌い上げました。次に家族発表が行われ、ダンスやカラオケなどを披露してくださいました。また2号館利用者さんによるダンスでは、AKB48の『ヘビーローテーション』に合わせて可愛らしいダンスで会場を和ませていました。最後に高瀬まみさんによる歌謡ショーが行われ、高瀬さんの素敵な歌に会場は大いに盛り上がりました。

昼食は体育館や各ユニットでお弁当とデザートを食べました。豪華なお弁当に利用者の皆さんも喜びを隠せない様子で、完食する方もたくさんいらっしゃいました。

館内では利用者さんがクラブで作った作品展示の見学や、茶道コーナー、エイブル・旭光園で作っているパンや納豆、ゴミ袋の即売会等、皆さん楽しい時間を思い思いに過ごしました。

拓光園がこの先、50年、60年と続くよう、また、利用者さんの生活が更に豊かになるよう精進して参ります。本当にありがとうございました。

(生活支援員 小嶋みく)



異動のお知らせ

10月1日に七峰会全体で人事異動が行われたことのお知らせします。

転出

一戸笑美子 主任事務員

福士八重子 主任栄養士

山郷館へ

山郷館へ

転入

田中彩子 主任事務員

菊地直子 管理栄養士

サンアップルホームより

サンアップルホームより

クリスマス会

生活介護事業所、障害児デイサービスセンター、日中一時支援事業所では、12月24日に合同でクリスマス会を行いました。クリスマスの飾り付けに彩られ、いつもと違った雰囲気ホールに、利用者の皆さんも興味津々。「はやくやろう」「楽しみ！」と待ちきれない様子です。

全員集合したところで、みんな一緒に「メリークリスマス！！」千本クジや椅子取りゲーム、メダル探しなど様々なゲームで盛り上がりました。午後にはお待ちかね、サンタさんの登場で皆さん大興奮。プレゼントを受け取ると「サンタさん、ありがとう！」と、とびっきりの笑顔が見られ、とても楽しいクリスマス会となりました。

「サンタさんありがとう。来年もまた来てね！」

(生活支援員 古澤一真)



ご逝去のお知らせ

平成7年より共に生活してきた、長谷川久子さんが11月10日にご逝去されましたことをご報告いたします。安らかにご永眠されますことを心よりお祈り申し上げます。

合掌

編集後記

新春とは申しながらまだ厳しい寒さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

おかげさまで拓光園は開設40年という節目の年を迎えることができました。今後も利用者さんや施設の様子などをこの新聞で伝えていきたいと思っています。今年もよろしく願い申し上げます。

新聞係一同

今後の行事予定

- | | |
|--------|---------|
| 1月1日 | 初詣 |
| 2月6～7日 | 雪灯籠制作 |
| 9日 | 雪灯籠祭り見学 |
| 3月11日 | ぼたもち作り |

※保護者研修会につきましては、後日改めてご連絡させていただきます。